【樹木・草花の部屋】

ヤマブキ（バラ科/バラ亜科/ヤマブキ属　Kerria japonica ）

和名；ヤマブキ（山吹）　別名；　英名；　Japanese kerria
　バラ目落葉低木
原産地；中国、日本　花言葉；気品、崇高、待ちかねる
花の色；黄

← 写真－１　ヤマブキの花・枝
撮影日：２０１３年４月７日
撮影場所：哲学の道（京都）にて
撮影者：M さん

　銀閣寺橋から南禅寺近の若王子橋までの、疏水沿いの哲学の道で見かけました。
　北海道から九州まで広く分布し、古くから親しまれた花。花は一重のものと八重のものがあり、特に八重咲き品種（K. japonica f. plena）が好まれ、よく栽培されているようです。一重のものは花弁は 5 枚。低山の明るい林の木陰などに群生します。

写真－２　ヤマブキの花　⇒

撮影日：２０１３年４月７日
撮影場所：哲学の道（京都）にて
撮影者：M さん

　山野で見ることのできる落葉性の樹木で、２ｍくらいの高さになります。枝は株元からたくさん伸ばして、地下茎が伸びていってそこからさらに芽が出て広がっていきます。
　花は鮮やかな黄色で、要するに「山吹色」と呼ばれている色です。八重咲きの品種やキクのようなかたちの花を咲かせる品種、葉に美しい

斑のはいる品種などがあり、４月頃には枝いっぱいにたくさんの花を咲かせます。観賞用の庭木としての他に生け垣としても利用することができます。

株分け、挿し木でふやすことができます。

＜ちょっと一言＞

＊株分け

株分けは地下茎から芽が伸びてくるので切り離してそれを植えます。

＊挿し木

挿し木は新しい枝を先端から１０ｃｍほどに木って湿らした赤玉土にさしておくと根がでてきます。。

＊植え付けと世話

植付は３月ころに・・。

枝の切り戻しは毎年行わなくても自然と容がまとまってくるのでむやみに枝を切る必要はありません。植えてからだいたい５年くらい経過すると枝の勢いも弱まってくるので、そのような古い枝は根元から１０ｃｍほど残して切り落とします。そのほかは混み合った部分の小枝を刈り込む程度にして、全体を短く刈り込まないように。作業の適期は１１月から１２月です。

＊備　考

古歌にも好んで詠まれ、太田道灌と八重山吹の話はよく知られています。八重咲き山吹には実がつかないことを述べた歌とされていますが、「七重八重」を山吹が積み重なる様に咲く様子を述べたと解し、ヤマブキの果実が堅くて食えないので、「山ほど花が咲くのに、食える実がつかないのは情けない」とする解釈もあるそうです。

似たものに、**シロヤマブキ**(Rhodotypos scandens (Thumb.) Makino)もあるが別属です。日本では岡山県にのみ自生していますが、花木として庭で栽培される事が珍しくありません。こちらは花弁は４枚